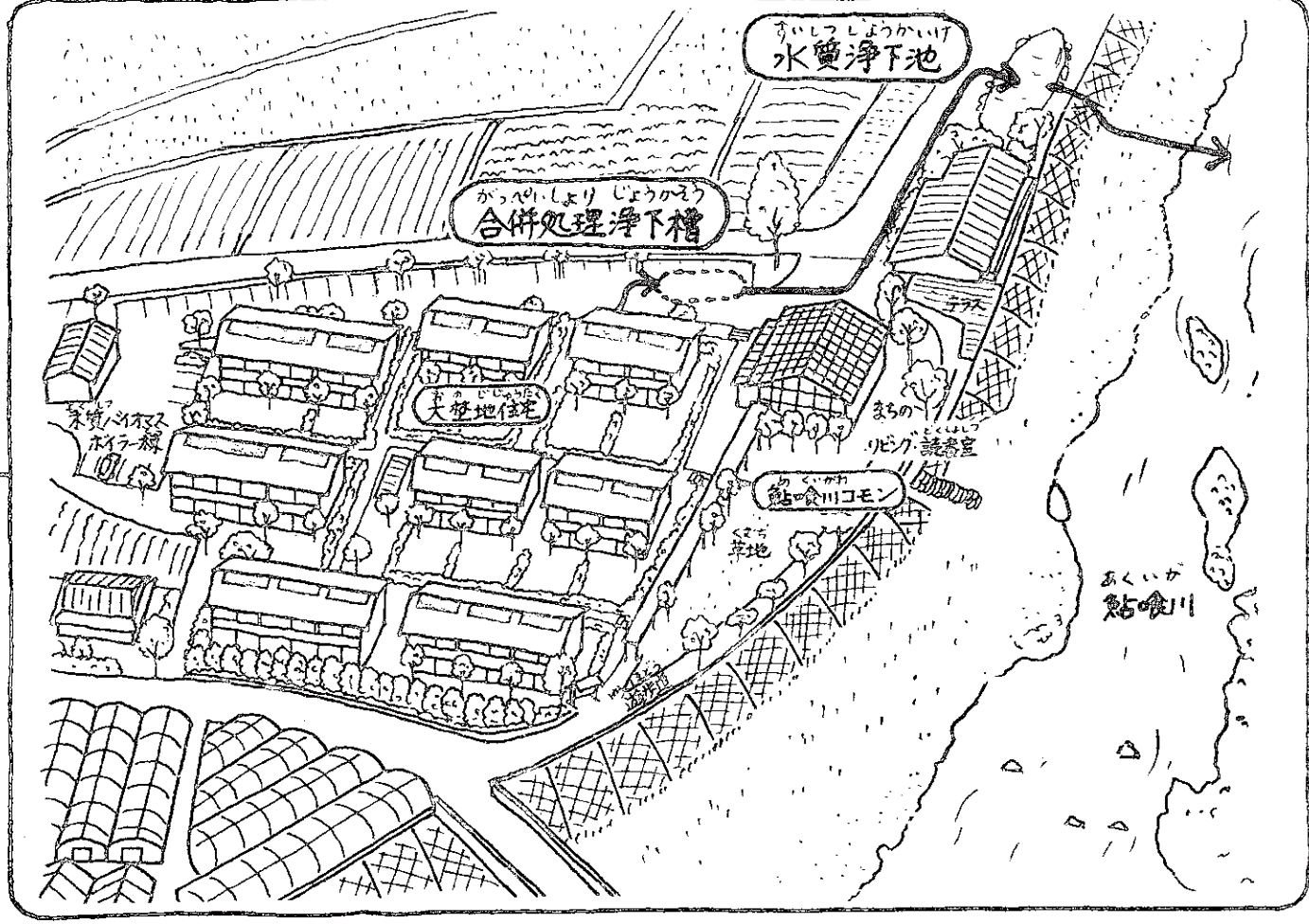
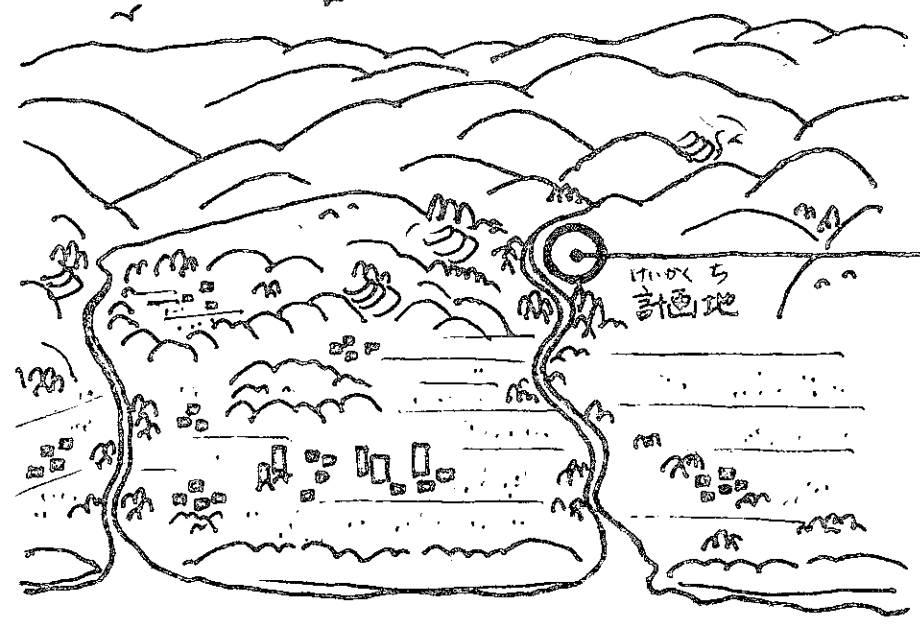


山も海も つながっている



大塚地の集合住宅では、各家庭から出た生活排水を合併処理浄下槽で処理した後、近くに設ける水質浄下池で二次浄下します。池にいる生物によってさらにきれいな水質にして鮎喰川に放流するようにしました。昔に比べ、川の魚の種類が減少したり、特に沢山採れていたウナギは随分減ったと耳にします。コンクリート製の水路で自然ろ過ができなくなったり、洗剤の利用など、川が生活の裏手に。集合住宅をつくられているこの場所は山にも海にも続いている。生物とも環境ともつながっています。山にも川にも、生物にも環境にも、そして人の暮らしにも目を向けられる集合住宅に。

郵便で送ります

拝啓 大雨の被害は大丈夫でしたか？

2016年から始まった集合住宅づくり。早いようでもう2年が経ちました。町の大事な建設工事、大きなお金も動きます。なのに、専門的で見えにくいのが建設工事。しかし、その工事の裏側には、町や町に暮らす人たちのことを大事に考えながら取り組む沢山の人たちがいます。そんな人たちの姿や思いを近くで見ているから、少しづつお年寄りの方も読んでくれていると。役場でも噂しよったんじやって！約5,300人の町に暮らす全員とお会いすることはできませんが、お便りを通じて繋がっていられたら嬉しいです。これからどうぞ集合住宅づくりを見守っていてください。またお会いする日までどうぞお元気で。

1年間、読んでくださってありがとうございました！

集合住宅づくりをきっかけにした取り組みやイベントも、これからもよろしくお願いします！

小学生から大工さんにお手紙が！「カネができたのですか？」

9月からは、城西高校の造園男子と庭の生垣づくりがスタート予定！

山にも目が向けられるようになり、「神山のやまを語る会」も発足！

バスツアーもお待ちしています！

第二期住戸も建設開始
発注者：神山町
設計者：神山町のあす環境デザイン株式会社
施工者：(有)ダイ建エ 坂東住建

発行 2018年7月
神山町と神山つなぐ公社
サポーター：アユニさん(鮎喰川) 文イラスト 赤尾苑香

